

2019年4月14日

福音書からのメッセージ

するとイエスは、「はっきり言っておくが、あなたは今日わたしと一緒に樂園にいる」と言われた。

(ルカによる福音書 23 章 43 節)

今日の聖書の中で、一人の人がイエス様に約束されました。「あなたは今日、わたしと一緒に樂園にいる」と。十字架にかけてられている状態で、イエス様はその人に、あなたはわたしと一緒に樂園にいるのだと約束をされます。

その人は一体どんな人で、何をした人なのでしょう。イエス様を最後まで信じ、イエス様にずっとついて行き、裏切ることなく、見捨てることなく、最後の最後まで強くあった人だったのでしょ。聖書にはこのように書かれています。

十字架にかけていた犯罪人の一人が、イエスをののしった。「お前はメシアではないか。自分自身と我々を救ってみろ。」すると、もう一人の方がたしなめた。

「お前は神をも恐れないのか、同じ刑罰を受けているのに。我々は、自分のやったことの報いを受けているのだから、当然だ。しかし、この方は何も悪いことをしていない。」そして、「イエスよ、あなたの御国においでになるときは、わたしを思い出してください」と言った。するとイエスは、「はっきり言っておくが、あなたは今日わたしと一緒に樂園にいる」と言われた。

はっきり言っておく、そう訳された言葉は、原文通りでは「アーメン、わたしはあなたに言う」となります。「アーメン」という力強い言葉の後に、一緒に樂園にいるという宣言をされているのです。そしてその宣言の相手とは、犯罪人の一人です。

イエス様の十字架の右と左には、一人ずつ、二人の犯罪人がつけられていました。一人はイエス様に言います。「本当にメシ



アだったら自分を救え。そしてわたしも救え」。それに対してもう一人はこう言い

ます。「わたしたちは自分のやったことの報いで、今、十字架につけられているんだ。でもこのイエスという人は、何も悪いことはしていない」。そしてイエス様に対し、「あなたの御国においでになるときは、わたしを思い出してください」と言います。

彼は犯罪人です。十字架につけられた人です。ローマに反逆したのか、多くの人を殺めたのか、それは書かれていませんが、彼自身、自覚しています。自分の罪のために、自分は十字架につけられたと。その上で、イエス様に言います。わたしをどうぞ、顧みてください。憐れみをお与えくださいと。

イエス様はその彼を、救いへと導きます。彼はイエス様にずっとついて来た人ではありません。いつも正しい行いをしていたわけでもありません。しかしイエス様は手を差し伸べられました。愛のまなざしを向け、招き入れられたのです。

わたしたちはその光に希望を見いだしたいと思います。イエス様は自分の罪を知り、憐れみを求めた罪にまみれた犯罪人を、十字架の上から顧みられました。イエス様の手は、血を流しながら、わたしたちを迎え入れるために広げられています。

桃山基督教会

〒612-8039

京都市伏見区御香宮門前町 184

TEL/Fax 075-611-2790

メール momoyama.kyoto@nssk.org

<教会ホームページ>

<http://momoyama.hannari.com/>